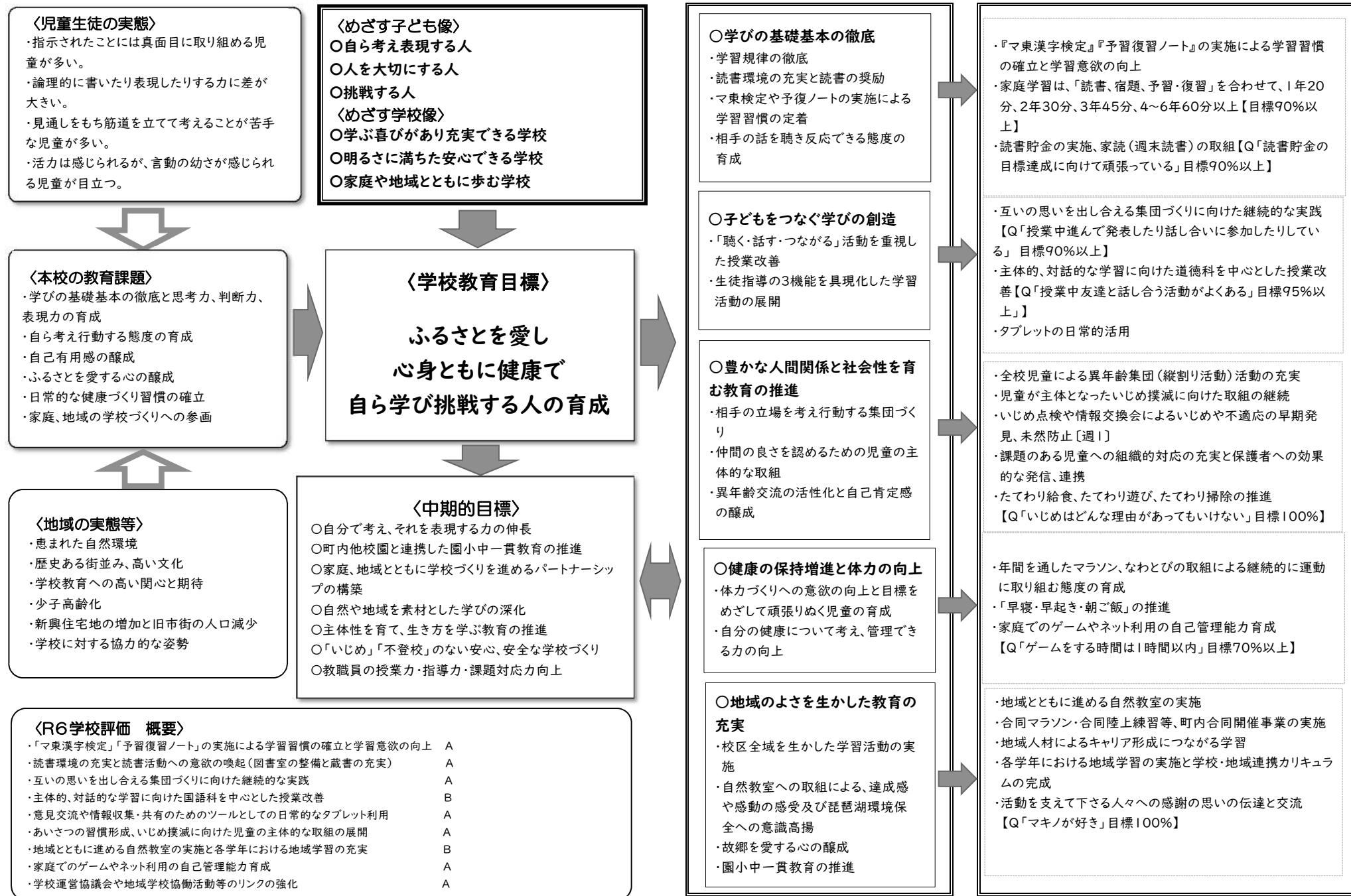


令和7年度 高島市立学校 学校教育到達目標

マキノ東小学校		1
マキノ西小学校		2
マキノ南小学校		3
今津東小学校		4
今津北小学校		5
朽木東小学校		6
朽木西小学校		7
安曇小学校		8
青柳小学校		9
本庄小学校		10
高島小学校		11
新旭南小学校		12
新旭北小学校		13
マキノ中学校		14
今津中学校		15
朽木中学校		16
安曇川中学校		17
高島中学校		18
湖西中学校		19

令和7年度 学校教育到達目標 高島市立マキノ東小学校



令和7年度 学校教育到達目標

〈児童生徒の実態〉

- 勤労意欲が高い
- 素直で元気が良い
- 男女・異学年とも良好な関係が保てる
- よく遊びよく学ぼうとする

- 少人数のため人間関係の固定化傾向
- 家庭学習の習慣化が不十分
- 自己肯定感が不十分
- 課題解決力に課題

〈本校の教育課題〉

- 小規模校の強みの生かし方
- 着実な学力向上・体力向上
- 言語活動の充実 コミュニケーション力の向上
- 個別支援指導 障がい者理解教育
- 集団づくりの工夫 人間関係力向上
- 地域に学び、地域で活躍する
- 地域人材とのさらなる連携

〈地域の実態等〉

- 少子高齢、過疎化
- 自然・人材が豊かである
- 農林業・観光地・工業団地
- 温厚な、家庭的雰囲気の人々が住む地域である
- 学校・教育への関心高く期待感あり、協力的である

〈令和6年度 学校評価 概要〉

・家庭内での取組が重要な児童の生活習慣について、意識づけとなる睡眠講座を実施いただき、早寝、早起きについては、昨年度よりかなりの改善が見られる。

・挨拶「ありがとう」「ごめんなさい」「すみません。」をきちんと使い分けることは、早くから周りの大人の言動から学ぶことなので、家族や先生方が積極的に手本を示し豊かな感性を持つ人になってほしい。

・PTA、保護者や地域の方々との連携を密にして取り組んだことは大きく評価される。子ども達の課題等、学校として負担にならないように今後も連携をお願いしたい。

・3年後には、3小学校が統合することになるため、児童が社会に出ていくために必要な支援ができるよう、3小学校の教育目標を踏まえ、マキノらしい素材を活かし、園小中一貫教育とも連携した地域連携カリキュラムの検討、コミュニティスクールのあり方について、学校運営協議会をうまく活用していただけるとありがたい。

高島市立マキノ西小学校

〈めざす子ども像〉

- 明るく ◇明るい声であいさつをする子
- ◇自分も他人も大切にできる子
- 元気に ◇心も体も元気でたくましい子
- ◇大きな声で発表ができる子
- 励む子 ◇夢や目標をもち自ら考えて行動する
- ◇話を理解して聞くことができる子

〈めざす学校像〉

『地域とともにある学校』
～つながり響き合う教育を実践し、
地域の核となる学校～

〈学校教育目標〉

自ら鍛え自ら学ぶたくましさ
人と自然と共生する
やさしさをもった人の育成

校訓 明るく 元気に 励む子

〈中期的目標〉

- 子どもの姿で勝負するプロ（教職員）
 - ・保護者・地域の期待に応える
 - ・小規模のよさを生かし課題を克服する経営
- 自らの成長を感じ自信が持てる（児童）
 - ・魅力ある楽しい教育活動、体験活動
 - ・集団力、自己肯定感の向上
- 学校・地域と課題と目標を共有する（地域）
 - ・地域の核となる学校づくり

【本年度の指導力点】

明るい子

- ★仲間づくり・集団づくり
 - ・道徳実践力・学習規律確立
 - ・絆を深め認め合う集団づくり
 - ・特別活動と縦割活動の工夫
- ★共生する力・生き方学習推進
 - ・マ西地域学習の継承
 - ・地域資源・自然体験活動の充実
 - ・地域人材の教育活動へのさらなる参画
 - ・『夢カード』活用
 - ・園小中一貫教育の推進
- ★特別支援教育・福祉教育推進
 - ・個別支援計画による指導相談
 - ・保護者・専門関係機関連携
 - ・障がい児(者)理解教育推進

元気な子

- ★体力向上・運動習慣確立
 - ・業間運動の工夫、充実
- ★生活習慣確立・食育推進
 - ・『早寝・早起き・朝ごはん』
 - ・ゲーム・動画2時間以内啓発・ノースクリーンデーの実施
 - ・歯磨指導、歯科受診率の向上
- ★いじめ・不登校ゼロの取組
 - ・報告、連絡、相談、確認、記録の徹底
 - ・道徳教育の充実
 - ・安心できる居場所・集団づくり
 - ・教育相談週間・アンケート活用

励む子

- ★魅力・喜びのある授業の実施
 - ・「わかる」「できる」授業づくり
- ICT活用授業 ○図書室活用授業
- 読解力の向上 ○課題解決的な学習の充実
- 外国語活動・外国語科の充実
- ★主体的・対話的で深い学びへの授業改善、充実
 - ・「マ西漢字チャレンジ」「詩歌チャレンジ」の取組
 - ・言語活動の充実
 - ・個別学習支援の工夫 ・朝学習・朝読書の徹底
 - ・家庭学習[10分×学年]以上
 - ・読書の質の向上、家読の推進
 - ・マキノ3小学校統合に向けての体験学習

地域とともにある学校

- ・学校運営協議会の充実
- ・地域学校協働活動の推進
- ・学校からの情報発信の充実

小中一貫教育の推進

- ・中学校区全員研修会への参加
- ・道徳教育と各教科、体験活動との関連

【到達目標・数値目標】

- ・明るい声で挨拶をする子 100%
- ・「ありがとう」「ごめんなさい」が言える子 100%
- ・地域に学ぶ体験学習実施 100%
- ・夢をもつ子(夢カード活用) 100%
- ・自尊感情の高い子 100%

- ・全学年で地域素材や人材による学習に取り組む
- ・全学年で『夢カード』の活用
- ・全学年で福祉学習の取組
- ・年に2回教育支援委員会との連携
- ・障がい者理解教育を各学年で1回開催

- ・進んで運動に取り組む子 100%
- ・早寝する子 低学年9時まで 100%
- 中学年9時半まで 100%
- 高学年10時まで 100%
- ・ゲーム・動画2時間以内 100%
- ・朝ごはんを毎日食べる子 100%
- ・歯科受診率 100%
- ・望ましい生活習慣定着に向けた家庭への啓発
- ・毎週定期的に児童の情報交換の機会を持つ
- ・年3回以上のアンケートを実施
- ・学期に1回、教育相談週間の実施

- ・自ら進んで学ぶ子 100%
- ・マ西漢字に取り組む子 100%
- ・詩歌チャレンジに取り組む子 100%
- ・家庭学習毎日10分×学年以上
- ・家庭学習頑張ろう週間の設定（年間5回）
- ・読書量 1～3年 100冊 4～6年 80冊
- ・「家読」月1回実施（年間10回）
- ・個人用タブレットを活用した授業実践
- ・全学年1回以上の研究授業
- ・「マキノ中学校区版学習スタイル」の定着
- ・マキノ図書館との連携

- ・年間5回の学校運営協議会の開催（担任等との懇談会会の設定）
- ・学校だより（毎月）、学年だよりの発行
- ・ホームページの更新
- ・メール配信による即時の情報発信
- ・中学校区全体研究会への参加
- ・「夢カード」の活用

- 自律し、変化の激しい社会を生き抜くための力を育成する
- 地域と学校が互いに協力し、地域とともにある学校をつくる
- 新小中学校の開校に向けて園小中と互いに連携を深め、協働した取組を進める

〈児童の実態〉

- ・素直でやさしい
- ・学習や活動に真摯に取り組む
- ・異年齢の結びつきが強い
- ・自分を表現することが苦手
- ・人間関係が固定化傾向にある

〈めざす子ども像〉

- 相手のことを考えた言動ができる子 笑顔いっぱいの子
- 自分に誇りを持つ子 個々の良さを認め、伸ばす学校
- 指示されなくても自ら学ぶ子 心が通い合い、思いやりのある学校
- 意見を出し合い、課題解決に向け行動する子 地域住民が足を運びやすい学校
- 集中してねばり強く取り組む子 自分を高めることにチャレンジする学校
- 進んで体を動かそうとする子 個々の夢や希望に向かって進める学校

〈めざす教師像〉

- 笑顔絶えず、元気を与える教師
- 支持的な集団をつくる教師
- 地域住民の願いを共有し、ともに活動する教師
- 人権感覚を高め、子どもの目線に立つ教師
- 子どもの学ぶ意欲を刺激する教師
- 新小中学校開校に向け新しいことにチャレンジする教師

〈本校の教育課題〉

- 児童数の減少で複式学級編制対象の学年が続くため、新たな指導体制が必要
- 新小中学校開校に向けて児童への意識づけを含めた準備が必要
- 地域生活での運動機会の減少により児童の体力低下が進んでいる

〈学校教育目標〉

笑顔あふれ つながり
やり遂げる 南小の子ども

〈地域の実態・人々の願い〉

- 豊かな自然、文化に恵まれ、古くからの風習が息づいている
- 学校教育に対する関心が高く、協力的である
- 思いやりのある、たくましい子に育てほしい
- 夢に向かって努力する子に育てほしい

〈中期的目標〉

- いじめ、不登校、体罰のない安全・安心な学校づくり
- 教職員の授業力、課題対応力の向上
- 家庭での自主学習の定着
- 開校に向けた園小中の連携による取組

〈令和6年度学校関係者評価 概要〉

○創立150周年記念事業に児童のアイデアを生かし、児童主体のクイズラリーを取り入れたことは、地域住民・卒業生に向けた発信として有効だった。地域と学校がつながる良い機会となった。

○職員数の減少をボランティアの協力によるサポートで補完する努力がある。ただし、子どもをたくましく育てるという面を考えると、あえて大人が出すぎない場面を設定する必要も感じる。たてわり遠足のように児童自ら企画する視点が大事で、与えられたことを楽しむだけでなく、自分たちで生み出したことを「面白がる」ことが人格形成には不可欠である。

○マキノで育った子はマキノが好き傾向がある。隔年で内容を変えるたてわり遠足でマキノの地域資源を生かしながら郷土の良さを感知することは有意義で、上学年のリーダー性を養える事業は、学校統合に向けてこの視点を大切にできるよう南小がリーダーシップを発揮してほしい。

○数値目標や指標が学校からの一方通行的なイメージがあるので関係者評価がやりづらい面がある。年度当初に指標・数値目標を知りたい。

【本年度の指導力点】

つながり響き合う教育の推進

- ☆タテのつながり
- 「マキノ中学校区園小中一貫教育」の推進
- 15歳の姿を見通した教育活動の創造
 - 新小中学校開校を見据えた統一感のある指導
- ☆ヨコのつながり
- 地域と学校が一体となって子どもを育てる意識の醸成
- 地域の人と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む
 - 子どもたちと地域の人がつながる教育活動の推進（学校地域連携カリキュラムの遂行）
- ☆未来とのつながり
- 自尊心を高める学級経営の充実
 - キャリアパスポートの活用、地域の大人の生き方に触れる機会の創出
 - 社会や団体への貢献を感じる活動の展開

【到達目標・数値目標】

つながり響き合う教育の推進

- ☆タテのつながり
- マキノ中学校区での園小中一貫教育の推進
- 園小中との合同交流活動の実施（各学期1回以上）
 - 中学校区での合同事業の充実度・満足度
- 【教職員：90%以上・100%】
- ☆ヨコのつながり
- 地域と学校が一体となって子どもを育てる意識の醸成
- 学運協・保護者・地域住民との対話や発信によりビジョンを共有する【保護者・教職員：90%以上】
 - 地域との協働した教育活動を各学年で学期に複数回実施
 - 地域住民が集える場としての学校を推進し、住民と児童・教員の交流を深める。【教職員：100%】
- ☆未来とのつながり
- 『夢のきっかけ講座』の実施
 - 自己肯定感を持つ子【児童：90%以上】
 - 協力して集団を高める指導を行う
- 【教職員：90%以上】

笑顔あふれ 学び深く 健やかに

- ☆笑顔あふれ（心アップ）
- 道徳・人権教育の充実
 - ・考え、議論する道徳科の推進
 - いじめのない学校づくり
 - ・早期発見、迅速な初期対応ができるチームで取り組む生徒指導
- ☆学び深く（学力アップ）
- 個別最適・協働的な学びの実現
 - ・対話を重視、考えを広げる・深める機会の創出
 - ・児童同士、教師や地域の大人とつながる授業の創造
 - 学習習慣と学力の定着
 - ・自由進度学習等、個に応じた指導にチャレンジ
 - ・自分を表現する力を伸ばす取組の充実
 - ・新小中学校開校に向け園小中で学習規律や学習習慣を共有
 - ・授業とつながりのある家庭学習の定着
- ☆健やかに（元気アップ）
- 健康な体づくりと運動に親しむ環境づくり
 - ・自己を伸ばそうとする、運動好きにする魅力ある体育科授業の実践
 - 防災・防犯への危機意識の向上
 - ねばり強く取り組む意欲の向上

笑顔あふれ 学び深く 健やかに

- ☆笑顔あふれ（心アップ）
- 道徳教育の研究・実践（充実度）【教職員：90%以上】
 - あいさつ きまり遵守【児・保・教：90%以上】
 - 定期的な教育相談と調査票の実施
 - ・学校が楽しい子【児童・保護者：90%以上】
 - ・いじめ防止への取組評価
- 【児童・保護者・教職員：90%以上】
- ☆学び深く（学力アップ）
- OJT研修の充実と教育財産の共有化の推進
 - ・学習の理解度（国語・算数）
- 【児童・保護者・教職員：90%以上】
- ・授業改善に心がける【教職員：90%以上】
 - 低学年からの学習習慣の定着
- 【児童・保護者：90%以上】
- 授業と家庭学習のつながりの重視
 - ・ジャンプアップの取組が有意義
- 【児童・保護者・教職員：90%以上】
- ・全国学力・学習状況調査の無回答率
- 【5%未満】
- ☆健やかに（元気アップ）
- 進んで運動に取り組む子【児・保：90%以上】
 - 体力向上に向けた体育科実践
- 【教職員：90%以上】
- 危機対処方法の理解【児・保：90%以上】
 - あきらめずにやり遂げる【児・保：90%以上】

〈児童の実態〉

- 素直で、人なつこい児童が多い。
- 総じて所属意識が高い。
- 読み取る力や伝える力、粘り強く取り組む力に弱さがある。
- 学習意欲に個人差が大きい。
- 個別支援を要する児童が多い。

〈めざす子ども像〉

- かんがえ(知) 学びの楽しさを知り、自ら学びに向かう態度の確立
- おもいやり(徳) 自他を愛する豊かな心の醸成
- たくましい子(体) 体力や気力、生きる力の充実
- 地域に学び、地域を愛する東っ子(郷土愛)

〈めざす学校像〉

- 地域とともにある学校
- 安全・安心が守られた信頼される学校

〈本校の教育課題〉

- 基礎学力の定着、思考力・表現力の向上
- 人間関係の構築を苦手にする児童への指導・支援
- 通常学級で特別な支援を必要とする児童へのきめ細かな支援・指導
- 不登校傾向児童への、保護者や関係機関と連携を密にした個に応じた指導・支援

〈学校教育目標〉

ふるさとを愛し、豊かな心を育み、
自ら学び挑戦する東っ子
・思いやりのある子
・ふかく考える子
・強くたくましい子

〈地域の実態等〉

- ・豊かな自然と歴史文化伝統に恵まれた環境を有する。
- ・過疎化の進む地域と新興住宅地があり、価値観は多様である。
- ・少子化の進行に伴う児童数の減少が顕著である。
- ・家庭や地域の教育力は一定保たれつつも、協力の得にくい家庭もある。

〈中期的目標〉

- 言語能力の向上を図り、正しい用語による論理的な表現力の向上
- 児童の主体性を高める行事の工夫と連帯感・充実感を深める学級づくり
- すこやかタイムの定着と保健安全指導の工夫
- 体験的学習・地域学習の更なる充実

〈R6学校評価 概要〉

- (児) 学校が楽しい88%、勉強がわかりできる92%、授業中、自分の考えをよく発表62%。
- (教) 読み解く力を意識した授業77%、ICTを活用した授業92%、人権教育推進100%。
- (学運協)
- ・基礎学力のさらなる定着に向けて、学年の発達段階に合わせた学習規律や自学・読書の推進など細部からのアプローチが図れるとよい。
- ・学級、学年、児童会など、いくつかの単位を踏んだ人権の取組が少しずつ積み上げとなり、心の育ちに生かされている。日常の学校生活の場でも、友達に思いやりのある言葉がけや気持ちのよいあいさつができるよう根気よく指導を続けていただきたい。

学びの楽しさを知り、自ら学びに向かう態度の確立に向けての力点

- ◎自分の考えを広げ深めながら理解し、進んで自分の考えを発表する態度の向上
- ◎児童の主体的な学びにつながるICTを効果的に活用した授業の充実
- ◎道徳科を中心に「読み解く力」の視点を意識した授業改善の推進

自他を愛する豊かな心の醸成への力点

- ◎いのち・人権 合言葉/あ・し・いたの3つ・「あいさつ、しんせつ、たいせつ」の実践
- ・校内人権の日(毎月10日)における人権意識を高める活動の充実
- ◎いじめゼロに向けての取組推進
- ・児童会主体で取り組む「いじめ撲滅」
- ・保護者や地域の団体等と連携した地域ぐるみでの思いやりの心の涵養

体力や気力、生きる力の充実への力点

- ◎規則正しい生活習慣の定着
- ◎体育的行事のほか、外遊びを励行し、健康でたくましい身体づくりの推奨
- ◎体験学習や異年齢集団での学習機会等による、生きる力(生活力・自立する力)の培養

地域とともにある学校

- ◎信頼される学校・期待に応える学校
- ◎学校運営協議会と一体となった学校運営
- ◎地域学校協働活動のさらなる充実
- ・はなまる広場の活動充実
- ◎学校地域連携カリキュラムの実践
- ・住民自治協議会、環境を守る今津の会等との連携
- 小中一貫教育の推進
- ◎道徳科を中心とした共同授業研究
- ◎学校地域連携カリキュラムの実践
- ・児童生徒の交流活動の充実

かんがえ(知)

- ◎児童の自己評価「勉強の内容がよくわかる」95%、「授業中、自分の考えをよく発表している」70%
- ◎「児童の主体的な学びにつながるICTを活用した授業に取り組んでいる」教員の割合80%
- ◎全教員による「読み解く力」を意識した授業づくりの研究(毎学期の研究授業で検証)

おもいやり(徳)

- ◎いのち・人権
- ①「学校へ来ることが楽しい」の児童評価90%以上(前年度88%)
- ②各学級で安心ルール決定→全校に発信
- ③校内人権週間・集会の開催
- ◎いじめゼロに向けて
- ①「学校はいじめ問題に誠実に取り組んでいる」の保護者評価70%以上(前年度61%)
- ②児童会主体ですめる「あいさつ」「いじめ防止」等の取組→毎学期実施

たくましい子(体)

- ◎「生活リズムができてきている」の自己評価が児童・保護者ともに80%以上
- ◎「すこやかタイムをはじめ、学校教育活動全般で体力づくりを図る」の児童評価90%以上
- ◎「異なる学年の友だちとも仲良く活動できる」児童評価90%以上

◎地域とともにある学校の確立

- ①学運協での熟議を経て、「地域とともにある学校」の具現化を図り、熟議の様子・内容は校報やHPで周知
- ②はなまる広場との協働活動の拡大・充実
- ◎小中一貫教育
- ①道徳研究発表大会に向けて中学校区一体となって共同授業研究を実施(毎学期)
- ②学校地域連携カリキュラムに則った小中児童生徒の交流活動の実施(毎学期)

〈児童生徒の実態〉

- ・明るく元気で、外遊びを好む。
- ・素直で人なつっこく、与えられた課題にはまじめに取り組む。
- ・困難なことに立ち向かおうとする気概にやや欠ける。

〈めざす子ども像〉

- ・基礎基本となる力を持ち、理解力・活用力をのばす子ども
- ・自他を愛する豊かな心を有する子ども
- ・健康でたくましい身体を有する子ども
- ・地域を知り、地域を愛する子ども

〈めざす学校像〉

- ・自ら学び、考え、行動する力を持った子どもを育てる学校
- ・児童の学力向上に努める学校
- ・人権意識を高め、豊かな人間性を育む学校
- ・たくましく生きるための健康な心身を育む学校
- ・地域に開かれ、地域の願いに応える学校

〈本校の教育課題〉

- ・児童が主体的な学びに向かうことができるよう、基礎基本の習得におけた授業づくり
- ・豊かな心と人権意識を高めるための道徳の授業の工夫や学習機会の設定
- ・家庭学習の充実を図るための保護者との協力連携

〈学校教育目標〉

すすんで やさしく たくましく

人を思いやる豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、ふるさとを愛する心身ともにたくましい子どもの育成

〈地域の実態等〉

旧川上村を中心とした学区であり、農業により生活を支えてきた地域である。三世同居の家庭も多く、これまでの伝統を大切に、地域で学校を支えていこうという風土がある。

〈中期的目標〉

- ・学力の基礎基本の定着を図り、自分の考えたことを表現につなげる。
- ・行事を通して成就感や自己存在感を深める学級づくり
- ・日頃から健康と体力を高めようとする意欲を育てる保健・安全指導の展開
- ・地域の特色を知り、ふるさとを愛する心情の育成

〈令和6年度 学校評価 概要〉

子どもたちが安心できる居場所づくりに奮闘されていると思う。小規模校ならではの、きめ細かい取組や地域との連携に工夫があり、評価できる。行事の様子をみていると、子どもたちが楽しく過ごしている様子がよくわかる。ミクロで見れば、課題はあるが、マクロで見れば、よいところも多く、課題が広がることもなく、よい学校であると評価できる。人材の活用など、大いに地域と連携を図り、その活用方法を保護者にもさらに広げていけるとよい。地域の方々の支援に感謝するとともに、支援したいと思える学校づくりに尽力されていることから、目標を達成したと考える。

学びあう子の育成のための力点

- ◎考えたことを話し合い、言葉を工夫して表現する学習活動の展開
- ◎主体的な学びにつながる、わかる授業の実践
- ◎ICTの活用
 - ・正しい使用方法を理解し、興味関心を持ち、思考の深まりにつながる活用方法の工夫
 - ・情報機器を使ってまとめた成果物の発表機会の工夫

豊かな心を育むための力点

- ◎いのち・人権を大切に
 - ・「いのち」の大切さを全教科・領域を通じた指導
 - ・学級や縦割り活動における、好ましい人間関係づくり
- ◎いじめをなくそう
 - ・日常生活の中で、「楽しい学校」について考えさせる。
 - ・人権集会を契機として自分たちからいじめをしない環境づくり

健やかなからだづくりのための力点

- ◎体を動かすこと・外遊びの奨励と環境整備
- ◎体力づくりの推進
 - 自らの健康に関心を持ち、健康な毎日を送るための保健指導を推進

地域とともにある学校

- ◎地域教材の効果的活用と、地域人材から学ぶ場を創出する。
- 小中一貫教育の推進
 - ◎発達段階に応じた学習規範の推進
 - ◎小中教員による授業づくり
 - ◎学校地域連携カリキュラムの深化と実証

学びあう子の育成

- ・「意欲をもって楽しく授業が受けられる」と回答する児童・・・80%以上
- ・家庭学習時間の定着化
20分（1、2年）10分×学年（3年以上）
- ・話し合いを取り入れた学習活動
主体的・対話的で、深い学びの実現
各教科で単元のまとめ等で随時実施
- ◎ICTを使った学習活動
 - ・タブレットの効果的な使い方について各教科の学習活動を通じて進める。

思いやりの心・豊かな心を育む

- ◎いのち・人権・思いやり
 - ①やさしい言葉をかけられた経験
85%以上
- ◎いじめのない学校づくり
 - ①学校が楽しいと回答できる児童
90%以上
 - ②場にあったあいさつがしっかりとできる。
85%以上

健やかな体

- ◎児童の体力向上への意欲を高める授業づくりや運動環境の工夫
 - ①外遊びをする子
80%以上
 - ②運動が好きと答える児童
80%以上
- ・児童会企画（大玉送り大会やなわとび大会やマラソンタイムで体力増進の機会を設定
- ・朝食指導、メディアコントロールの取組

学校運営協議会

- ・学校と地域がつながる機会や方法について協議し、地域に開かれた学校づくりに努める。
- 小中合同による授業づくり
 - ・共同授業研究を機会として、学区内の児童生徒の学力状況を把握し授業改善を推進する。
 - ・中学校区で学校地域連携カリキュラムの実証

〈児童の実態〉

- ・明るく素直である。
- ・学年の枠を超えて仲良くできる。
- ・自信がなく主体性に欠ける。
- ・常に少人数の中で生活するため、大集団の中では自分を出せない。
- ・多様な考え方に触れる機会が少なく学力テストなどでは発展、応用問題に弱みがある。

〈めざす子ども像〉

自分も友だちも大切にする子
心も体も元気でたくましい子
自分の思いを豊かに表現できる子

〈めざす学校像〉

互いにつながり 響き合う 温かい学校
～児童・保護者・地域から信頼される学校～

〈本校の教育課題〉

- ・一学年の児童数の減少に伴い、一部の学年で複式学級編制を行っている。時間割の工夫により、様々な学年の児童と関われるようにしている。
- ・地域とともにある学校として、豊かな自然と協力的な地域住民を教育活動にどのように取り入れるかが課題である。

〈学校教育目標〉

心身ともにたくましく、
ふる里を愛する
人間性豊かな子どもの育成
～自分らしく生きていく力を育む～
なかよく たっしやで きばる子

〈地域の実態等〉

- ・地域の過疎化にともない児童数が著しく減少している。
- ・地域の教育力は保たれており、家庭・地域とも学校に対して協力的であるが、ボランティアも高齢化している。
- ・校区が広く、バス通学児童が3割強で、行事等日課変更時の下校時刻設定に配慮を要する。

〈中期的目標〉

- ・豊かな人間関係づくりに向けた実践
- ・自分の思いを主体的に表現する力の育成
- ・児童が学びを実感できる授業の実践
- ・豊かな自然と地域人材を生かした教育活動の展開

〈知〉きばる

- ①学ぶ力向上のための授業改善
 - ・合同授業研究システム
 - ・教科担任制の実施
 - ・複式解消のための時間割工夫
- ②「学びの保障」に向けた取組
 - ・指導計画見直しと指導法の工夫
 - ・「個別最適な学び」と「協働的・探究的な学び」の実現（タブレット有効活用）
- ③学習規律確立・学習習慣定着
 - ・学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり
 - ・読書活動の充実（学校司書活用）

〈徳〉なかよく

- ①仲間・集団づくり
 - ・心に響く道徳授業、縦割り活動
 - ・いじめを許さない学校づくり
- ②共生する力・生き方学習継続
 - ・特色ある地域学習の継承発展
 - ・自然体験活動の充実
 - ・園小中一貫教育の充実（BUT）
- ③特別支援教育・福祉教育推進
 - ・個別支援計画による指導相談
 - ・障がい児（者）理解教育推進

〈体〉たっしやで

- ①安全・安心な環境づくり
 - ・健康教育と心のケア
 - ・教育相談週間の計画的実施
 - ・校内外での安全対策の徹底
- ②生活習慣確立・食育推進
 - ・『NO!メディアウィーク』の実施
 - ・保健学習・食育指導の充実
- ③体力向上策の継続
 - ・季節に応じた体力づくり
 - ・体育授業の充実、体育的行事の工夫

地域とともにある学校

- ①学校運営協議会での熟議と学校経営への理解推進
- ②地域協働活動推進員との密接な連携と学校・地域連携カリキュラムによる人材活用
- ③各種機関、団体との連携と開かれた学校づくり
 - 支所、公民館、民生児童委員、日赤奉仕団

- ・「勉強がわかる」と回答する児童 80%以上
- ・PDCAによる学ぶ力向上策の推進 毎学期
- ・教科担任制の実施と時間割の工夫 通年
- ・小中合同授業研究会の実施 2回/年
- ・園小中での保育・授業交流 随時
- ・ICTを活用した効果的な学習指導をする教員 90%以上
- ・朝学習（読書タイム、教科等）の充実15分/日
- ・「自学自習」できる家庭学習の支援 毎週
- ・朝の読み語り（全校） 毎週
- ・図書サロンの訪問貸し出し 隔週1回

- ・道徳の授業でよく考える児童 80%以上
- ・いじめアンケートの確実な実施 100%
- ・集会等での個人発表 1人1回/年
- ・「命の授業」の実施 偶数学年1回/年
- ・「校内人権の日」の取組 1回/月
- ・朽木の自然の良さを感じる児童 90%
- ・園小中一貫教育の取組に成果を感じる教員 90%以上
- ・福祉教育計画的実施（社協連携）1単元/年

- ・「学校が楽しい」と思う児童 100%
- ・調査結果即指導対応ケース会議 随時
- ・教育相談期間の設定と実施 年間3回
- ・小中『NO!メディアウィーク』 毎学期
- ・避難訓練の実施 3回/年
- ・栄養教諭による各学年食育指導 100%
- ・体育的行事と児童会活動とのリンク 随時
- ・体育的行事に一所懸命取り組む児童 90%

- ・学校運営協議会の開催と熟議の実施 中学校区合同3回、各校2回
- ・学校・地域連携カリキュラムの検証（見直し） 随時
- ・学校だよりの発行とHP掲載 月1回以上
- ・メール配信による地域ボランティア募集 随時
- ・スクールガードによる登下校支援と見守り活動 年間

〈令和6年度学校評価 概要〉

教科担任制の学習は一定の成果をあげている。道徳の授業や命の授業などでは多くの意見を引き出す工夫をし、命、人権（言葉遣い）、障がい者理解など実践的な態度の育成に努めてほしい。伝統的行事の意義を再確認し、朽木の良さを知る機会として活用しながら、発達段階にあった体力向上を図ってほしい。読書や家庭学習について、家庭学習の進め方のモデル提示、親子で本を楽しむ機会の設定をしながら各家庭で連携し取り組んでほしい。地域連携の成果を保護者や地域と共有し、地域の子どもたちを育てる協力者を増やしていくとよい。

令和7年度 学校教育到達目標 高島市立朽木西小学校



〈児童の実態〉

- ・素直で明るく、活発である。
- ・指示されたことは取り組むが、自主的に行動する力が弱い。
- ・最後まで粘り強く取り組む姿勢に課題がある。



〈本校の教育課題〉

- ・基礎的・基本的な力を身につけ自ら課題を解決する力を育成する。
- ・いじめのない、互いに助け合い励ましあえる学習集団を育成する。
- ・規則正しい生活習慣を確立し、進んで運動に励む子を育成する。



〈地域の実態等〉

- ・学校教育活動の推進に、理解と協力がある。
- ・PTA活動や学校行事には、積極的に参加され、協力的である。
- ・学校支援については、必要な時に必要な支援がある。
- ・保護者の価値観の多様化、生活基盤の脆弱化等、子どもに影響している。

〈めざす子ども像〉

- ・互いの違いを認め合いながら、自らの目標をもち、考え、伝え、主体的に行動する子ども

〈めざす学校像〉

- ・生きる力を育む学校
- ・学ぶ楽しさを実感できる学校
- ・安心、安全で居心地のよい学校
- ・地域に信頼される学校

〈学校教育目標〉

「豊かな心と自ら学び考える
意欲をもつ 心身ともに
たくましい安曇っ子の育成」

合言葉
じょうぶで がんばる やさしい子

〈中期的(3年間)目標〉

- ・基礎、基本の確実な習得と、学び合いを活性化し、主体的、対話的で深い学びの創造
- ・読解力等言語力、活用力を高める授業の展開
- ・ICTの活用による、わかる、できる授業の創造
- ・道德教育の充実で豊かな人間関係を育成し、いじめを絶対に許さない仲間づくりの推進
- ・健康、体力づくりと、豊かな心の育成
- ・小中一貫教育の推進による教育課程や生徒指導面での連携とキャリア教育の一貫した取組
- ・学校運営協議会・地域学校協働活動を核とした地域とともにある学校づくりの推進

【令和6年度学校評価の概要】

- ・(児童) 授業が楽しい、わかる 83%、学校が楽しい 87%、学校は居心地がよい 81%
- ・(教師) ICTの活用を心掛けた 子どもたちの対話を大切にしたい道徳の授業づくりを推進してきた学習規律の確立、丁寧な言葉遣い、基礎的な力の定着を今後も目指す。
- ・(保護者) 学校に楽しく通っている 93%、学校の学習を理解している 89%、お便りや連絡文書等で、学校の様子をだいたい把握している 91%
- ・(地域) 教職員の働き方、学校の業務の見直しは必要地域から入っていくことが増えている。さらにいろんな人と関わりのある学校づくりを推進して欲しい。

〈本年度の指導力点〉

○主体的に学び、考え、行動する教育の実践

- ・魅力ある授業で、基礎的・基本的な学習内容の定着と主体的な学習の推進
- ・1人1台端末を生かした個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・地域学習を核とした総合的な学習を基に探究的な学習の推進
- ・文章を正しく読み取り、自分の言葉で表現できる子の育成
- ・パワーアップタイム等による「書く力」の育成

【我が校の学ぶ力向上策の実践】

○豊かな心と良好な人間関係づくり

- ・いじめをしない、許さない児童の育成
- ・言葉遣いや言語環境の整備
- ・互いを認め合える集団作り
- ・縦割り活動の推進
- ・藤樹先生の教えに学び、よりよく生きるための道德教育の推進

○たくましい体の育成

- ・外遊びの奨励、自己の体力課題を克服する体力づくりの実践
- ・業間運動、鉄棒や縄跳び、マラソン等の体力づくりの推進
- ・食育の推進や早寝早起き等生活リズムの構築

○小中一貫教育の推進

- ・豊かな学びにつなぐ授業研究の充実
- ・一部教科担任制による指導の充実
- ・小中連携による道德教育の充実

○地域とともにある学校づくりの推進

- ・学校便り等による保護者、地域への情報発信
- ・学校運営協議会を基軸に地域学校協働活動の推進、学校関り人口の増加、つながり響き合う教育の実践
- ・学校・地域連携カリキュラムの見直し・更新

〈本年度の到達目標:数値目標〉

《主体的に学び、考え、行動する教育の実践》

- ・授業が楽しい、わかる
児童評価 85%以上
- ・相手の話をしっかり聞ける
児童評価 88%以上
- ・自らの課題に主体的に取り組む家庭学習と自主学習の習慣化
- ・パワーアップタイムで「書く力」が身についたと実感する児童評価 80%以上
- ・朝読書等での読書の習慣化
- ・国語科を校内研究に全教職員での授業研究会の実施
- ・学習中、自分の考えを持ち発表している
児童評価 80%以上

《豊かな心と良好な人間関係づくり》

- ・学校に来るのが楽しい
児童評価 88%以上
- ・学校、学級は居心地がよい
児童評価 85%以上
- ・自分も他者も大切にする児童の育成
- ・毎学期、教育相談いじめアンケートの実施
- ・自尊感情を育む、教職員の働きかけ
- ・個別的教育支援計画、合理的配慮に基づく、きめ細かな指導と支援の実践
- ・縦割り活動による良好な人間関係の育成(運動会、縦割り掃除、縦割りあそび等)

《たくましい体の育成》

- ・マラソン週間、鉄棒週間等の実施
- ・生活アンケート等による家庭への啓発と規則正しい生活習慣の確立
- ・早寝早起き朝ごはんの生活リズムができていく 85%以上

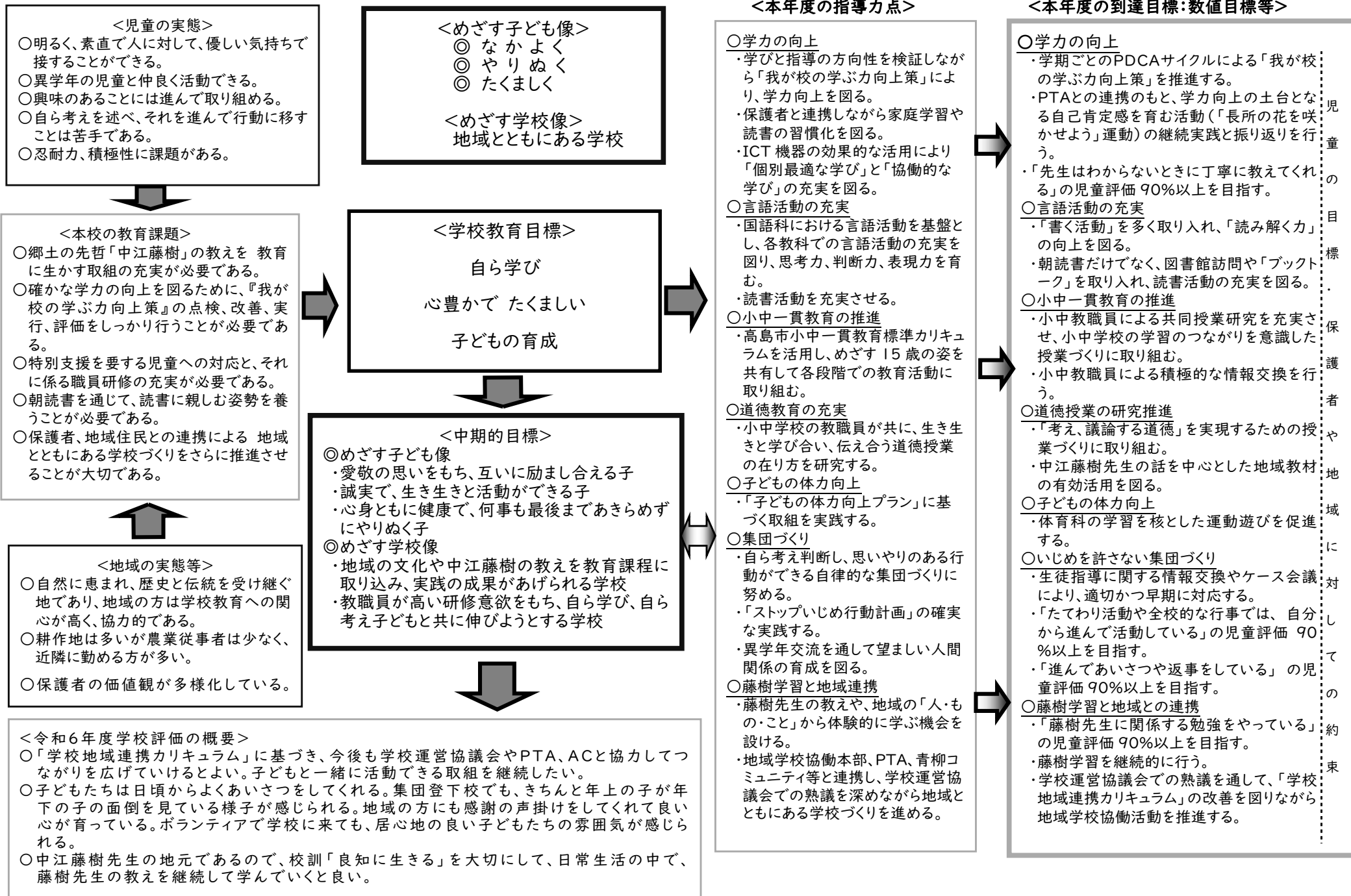
《小中一貫教育の推進》

- ・小中合同学習は、中学校進学への不安解消に役立った 児童評価 95%以上
- ・小中教員による情報交換会や共同授業研究の実施
- ・高学年の一部教科担任制を実施

《地域とともにある学校の推進》

- ・新たな学校支援ボランティアの発掘と組織化
- ・学校関り人口の増加のための取組
- ・学校・地域連携カリキュラムの見直し・更新

令和7年度 学校教育到達目標 高島市立青柳小学校



令和7年度 学校教育到達目標 高島市立本庄小学校

<児童の実態>

- 向上心を持ち、目標に向かって努力できる。
- 誰とでも仲良く、協力して活動できる。
- 何事にも、真面目に取り組める。
- 控えめで、積極的に行動することが苦手な子が多い。

<本校の教育課題>

- 基礎学力の定着や思考力・表現力の育成に課題がある。
- 助けや指示を待つことが多く、主体的に粘り強く学ぼうとする姿勢に欠ける。
- 読書習慣が定着していない。
- 少人数で、決まった集団の中で過ごすため、人間関係を広げたり、コミュニケーション力を身につけたりする機会が少ない。

<地域の実態等>

- 滋賀を代表する自然遺産の琵琶湖に近く、豊かな自然環境に恵まれている。
- 学校の取組に理解があり、協力的な保護者や地域の方々が多い。
- 少子高齢化や人口減少に伴う地域力の低下、文化や伝統の継承への不安がある。

<令和6年度学校評価の概要>

- ・授業では、全員の意見を引き出す工夫もされていて大変良い。また、自分の思いが口に出せる環境、人の弱さやつらさを一緒に考えてあげられるように導いておられる。継続してもらいたい。
- ・駐在所の方が毎朝、子ども達を見守っていただいて、学校の安心安全が、担保されている。あいさつも、温かい挨拶ができるようになった。
- ・学校、児童、学運協の熟議はあるが保護者と学運協委員の意見交換の機会がないことは残念である。また、地域のつながりやボランティア活動等とも上手に結び付けられるとよいと思う。
- ・環境が変わっても自分の信念を变えることのない教育とは？モデルとなる身近な大人はどうあるべきか。卒業後も地域との関係性が継続できるような活動ができると良いと思う。
- ・縦割り活動を増やし、上級生が下級生に接する点（優しく、丁寧に説明）を伝承していけないか。
- ・体験、経験させるよい活動が多い。人と触れ合うことで温かさを感じることができている。
- ・子ども達が地域で活躍の場を作らせていただいていることは、子ども達の人間形成にとって非常に良いことである。
- ・児童との意見交換に参加して、子ども達の発言内容に感心した。思いや意見の理由付けがしっかり言えていた。日々の学習の積み重ねだと感じた。

- めざす 子ども像
 - ・心身ともにたくましい子
 - ・志を持ち、実現しようとする子
 - ・互いに認め合い、尊重し合う子
- めざす 学校像
 - ・安心、安全な学校
 - ・子どもが生き生き学ぶ学校
 - ・地域に根ざした信頼される学校
- めざす 職員像
 - ・専門性を発揮して組織で協働
 - ・使命感をもって子どもを育てる
 - ・自らの襟を正し、信頼を得る

<学校教育目標等>

校訓

『たくましい子 本庄の心』

「地域の願いや期待を受け止め、自らの未来を切り拓こうとする意志と能力を持つ子どもの育成」

<中期的(3年間)目標>

- 基礎学力の定着を図り、思考力・表現力を伸ばす。
 - ・自ら学ぶ力を高めるとともに、学びを深める授業づくりを行う。
- 自ら考え、ともに学び合う力をつける。
 - ・自らの志を実現しようと努力する意欲を育てる。
- 豊かな心とたくましい体を育てる。
 - ・様々な体験を通して、心身ともにたくましい本庄っ子の育成を図る。

【本年度の指導力点】

学力向上のための力点

- 自ら学ぶ力を高め、ともに学びを深める授業
- 思考力育成の礎となる語彙力・表現力の向上
- 家庭学習習慣の定着と読書習慣の醸成
- 学校図書館活用の充実
- 未来を見据えた教育の充実
 - 外国語活動、キャリア教育、ICT活用、個別最適で協働的な学び

豊かな心を育むための力点

- 互いの個性を尊重し、つながり合う集団づくり
- 様々な人と関わる経験ができる取組
- 自己肯定感を高める取組
- 人権意識(自分も相手も大切にできる)を高める取組
- 個々のニーズに対応した特別支援教育の推進

たくましい心身を鍛えるための力点

- より高く目標を設定し、その達成に向かって努力する児童の育成
- 「早寝・早起き・朝ご飯」等の生活習慣の定着
- 「気づき、考え、実行する」を合言葉に、自発的で奉仕的な活動の推進
- 話し合い活動を通し、自分たちで課題を見つけ、解決方法を考え、行動する力の育成

安心・安全な学校づくり

- 「自分の命は自分で守る」行動が主体的にとれる意識の向上
- 関係機関と連携した効果的な避難訓練や防災教育の実施

つながり響き合う教育の推進(縦のつながりと横のつながり)

- 発達段階に応じて地域の自然や文化、産業等を学ぶ活動の編成と内容の充実
- 学校運営協議会を主体とし、保護者と教職員、地域と学校が課題を共有し、協働で課題解決を図る取組
- 小中一貫教育の内容の更なる充実(小小・小中の交流、合同授業研究)

【到達目標・数値目標】

数値は「よくそう思う」(強い肯定)の割合

○学力の向上

- ・学習の内容が分かる (65%以上)
- ・意見の交流や深め合う授業づくり (50%以上)
- ・家庭学習の定着・習慣化 (30%以上)
- ・読書が好きな子ども (50%以上)
- ・週末読書実施率 (30%以上)
- ・ICTを効果的に活用した授業の実施 (50%以上)

○豊かな心の育成

- ・自分にはよいところや得意なことがある (70%以上)
- ・子どものよいところを見つけ、認めている (30%以上)
- ・クラスの友達の良いところを知っている (60%以上)
- ・友だちと協力して学習や活動ができた (60%以上)
- ・地域や学校で誰にでもしっかりとあいさつをしている (70%以上)
- ・縦割り活動の充実と地域の方との交流 (70%以上)

○心身のたくましき

- ・自己目標の達成に向けて努力できた (75%以上)
- ・「早寝・早起き・朝ご飯」の習慣が身についている (50%以上)
- ・学校をよりよくするために気づいたことを実行できた (55%以上)
- ・JRC活動では、様々な活動をやりがいをもって最後まで取り組むことができた (55%以上)

○安心・安全な学校づくり

- ・学校は、安心できる場所だ (65%以上)
- ・子ども一人一人に居場所がある学級・学校づくり (50%以上)
- ・こども安全点検で自分も周りの人もけががないように意識することができた (60%以上)

○つながり響き合う教育の推進(縦と横のつながり)

- ・本庄が好きで誇りを持っている (70%以上)
- ・地域の力を取り入れた教育ができています(学校地域連携カリキュラムの活用) (70%以上)
- ・児童が中学校進学への不安を感じていない (30%以上)
- ・教員が小中合同の研究授業の効果を感じている (50%以上)
- ・教員が他学年や中学校を意識した系統的な指導を展開している (40%以上)

令和7年度 学校教育到達目標

高島市立高島小学校

< 児童の実態 >

- ・児童は明るく、真面目で何事にも一生懸命取り組み、校内では活発に遊ぶ姿も見られる。
- ・放課後は学童や習い事で過ごす児童が多く、地域では群れて遊ぶことはほとんどない。
- ・人間関係がこじれたり、偏った見方がされたりすると、その関係は固定化されてしまうことがある。
- ・自分の思いを上手に相手に伝えられなかったり、自分本位な判断をしたりして、望ましい人間関係を築けないといった、個々の課題のある児童もいる。

< 本校の教育課題 >

縦をつなぐ小中一貫教育を通して、自ら学び、正しく判断し、実践できる力と豊かな心を育み、横をつなぐ地域とともにある学校づくりにより、保護者や地域に信頼される学校を創造する。

< 地域の実態等 >

- 山村部と市街商業地域が併存している。新興住宅はあるが、いずれの地域においても人口は減少傾向にある。
- 核家族や両親共働きの家庭が多くなり、かつての三世同居世帯は少なくなっている。
- 保護者・地域住民は、学校教育への関心は高く協力的であるが、互いの関係性は希薄化している。

< 令和6年学校評価 概要 >

- 確かな学力の定着[B]
学び合いの日常化を進めるべく、小中共同研究に取り組んだ。授業がわかる:A92.0%(児)/78.1%(保)
- 豊かな心の育成[A]
年間計画や他の教育活動に応じた道徳科授業を行った。道徳がためになる:B92.8%(児)
学校地域連携カリキュラムに基づきながら、多くのボランティアのおかげで活動が豊かになり、充実した。
- 豊かな人間関係を結ぶ力の育成[A]
縦割り活動、ステージ活動の工夫・充実を図り、高学年ではすべての児童に活躍の機会を作るべく配慮した。
学校が楽しい:A93.6%(児)/91.9%(保)
人権集会や児童会の取組、小さな出来事でも学級や学年で考えることにより人権意識を高めた。
学級の友だちを大切にしたい:A100%(児)
- 健康な心と体の育成[B]
生徒指導3機能を意識した授業づくり、教育相談体制の充実を図った。先生は相談しやすい:B85.2%(児)/77.2%(保)
- 小中一貫教育の推進[A]
学園研究や専科指導、合同・交流行事により連携を深めた。A75%(教員)

- △めざす子ども像▽
- たくましく元気な子
 - かしこい判断ができる子
 - しっかり聴いて、よく考える子
 - まわりを思いやる子

- △めざす学校像▽
- 学びを大切にする学校
 - 心を磨き高め合う学校
 - つながりを大切にする学校
 - 地域とともにある学校

< 学校教育目標 >

確かな学力と豊かな心を身につけ、
たくましく未来を拓く子どもの育成
～主体性の育成～

< 中期的【3年間】目標(1年目) >

- ・「学ぶ力」を高めるため、義務教育9年間の系統的・継続的な指導を意識し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る授業改善に取り組む。
- ・一人一人の特性や課題に応じた指導の充実を図り、協働的な学びの集団作りを進める。
- ・体験的な活動を重視し、多くの人とのふれあいを通じて豊かな情操や社会性、郷土愛を育む取組を進める。
- ・児童理解に努め、適切な生徒指導・支援を行いながら自己有用感を醸成し、自己指導力を育む。
- ・家庭、地域、関係機関との連携を深め、地域とともにある学校づくり、信頼される学校づくりを進める。

【本年度の指導力点】

【確かな学力のための力点】

- 子どもを真ん中においた個別最適な学びと、協働的な学びになる授業改善

- 読書活動の活性化

- 特別支援教育の充実

- 自主学習の習慣を確立

【豊かな心の育成のための力点】

- 自分事として生き方を見つめる道徳教育の推進

- 望ましい人間関係を土台にした生徒指導の推進

- 主体性を引き出す児童活動の推進

【豊かな人間関係を結ぶ力(育)を育成するための力点】

- 相手の立場を尊重し、人権意識の高い、いじめを許さない集団づくり

- 礼儀正しい節度ある生活態度(あいさつ、時間を守る、掃除)の育成

【健康な心と体の育成のための力点】

- 児童理解を土台にして、自己指導力の向上をめざす生徒指導の推進

- 命を大切に、健康で安全な生活実現を目指し、行動できる資質能力の育成

- 基本的生活習慣の確立

【小中一貫教育推進のための力点】

- 学園授業研究会の充実
- 小中教員の交流指導による連続した指導の充実

【地域とともにある学校づくりのための力点】

- 学校運営協議会と地域学校協働活動の連携、一体化
- 協働して地域全体で子どもの成長を支える風土の醸成

【到達目標・数値目標】

・中学校と共同研究に取り組み児童の系統的・継続的な指導を踏まえながら授業改善に取り組む。

【学園研究やOJTを通じた授業改善100%】
・朝読書の充実や、読書環境の整備を進め、読書に親しむ児童を増やす。【楽しく読書に親しむ(児)70%】
・児童理解を深め、適切な生徒指導・支援を行うための指導力向上に取り組む。【研修会実施】
・家庭学習や読書の充実を図るため、家庭との連携を進める。【家庭学習や読書への働きかけ(保)70%】

・他の教育活動と連携した道徳カリキュラムを着実に進め、日常に立ち返る道徳教育を進める。
・文化芸術や自然体験、栽培活動、多様な人とのふれあいを通して、豊かな情操や社会性、郷土愛を養う。
【体験が自分の成長につながった(児)80%】
・縦割りやステージ活動、中学校との交流を通じて児童の主体性やリーダー性を育成する。
【縦割り活動やステージ活動に進んで参加(児)70%】

・人権意識を高める指導や児童集会、行事等多様な人々との交流を通じて児童の人権意識を高めいじめの未然防止につなげる。
【学級の友だちを大切にしたい(児)100%】
【自分には良いところがある(児)80%】
・真面目で誠実に学校生活を過ごす態度を育成する。
【あいさつ、時間、掃除、自分の役割(児)85%】

・生徒指導の3機能を意識した教育活動を展開し、一人ひとりの児童に居場所がある学級づくりを進める。
【学校生活の楽しさ(児)80%(保)75%】
【失敗をおそれないで挑戦(児)90%】
【自分には良いところがある(児)80%】
・児童理解のための教育相談の機能を充実する。
【困っていることを先生に相談できる85%(児)】
・真面目で誠実に学校生活を過ごす態度を育成する。
【あいさつ、時間、掃除(児)85%】
※望ましい生活習慣の定着に取り組む。(家庭との連携、啓発)

・中学校と共同研究に取り組み児童の系統的・継続的な指導を踏まえながら授業改善に取り組む。
【学園研究やOJTを通じた授業改善100%】
※小中教員の交流授業を進め、小学校の教科担任制と中学校での複数指導の拡充を図る。
※学校運営協議会と協働し、学校地域連携カリキュラムによる教育活動を推進する。

令和7年度 学校教育到達目標 高島市立新旭南小学校



令和6年度 学校評価の概要

考える子：学ぶ力の育成	B	授業改善 (B)	基礎基本の定着 (B)	学習規律・学習習慣の確立 (B)
がんばる子：主体性の育成	B	個が生きる集団づくり (B)	豊かな人間性・社会性を育む (B)	やりきる姿勢を伸ばす (B)
やさしい子：豊かな心の育成	B	心を育てる人権教育・道徳教育 (A)	特別支援教育の推進 (B)	凡事徹底の学校風土 (B)
きたえる子：たくましい心身の育成	B	健康への意識向上 (B)	体力・運動力の向上 (B)	安全・安心な学校づくり (B)
教職員の教育力を高める	A	学び続ける姿勢と学び合う教職員集団 (B)	チームで勝負する教職員集団 (A)	
地域とともにある学校づくり	A	学校運営協議会と地域学校協働活動の充実 (A)	協力体制の構築 (A)	

【本年度の指導力点】	【到達目標・数値目標】
考える子：学ぶ力の育成 ◎基礎・基本の定着 ○個別最適な学び ・授業のユニバーサルデザイン化 ・ICT機器の効果的な活用 ○全員参加のための協働的な学び ○学習規律、学習習慣の確立 ・学びに向かう姿勢づくり ・家庭学習、読書活動の充実 ◎子どもと創り上げる授業（授業改善） ○魅力ある学習課題、導入、発問の工夫 ○子どもと教材、子どもと子どもをつなぐ支援 ○既習内容や学ぶ姿勢をつなぐ工夫 ○「伝え合い、聴き合い、深く考える力」の向上 ○振り返りの重視と読み解く力の育成	考える子：学ぶ力の育成 ◎基礎・基本の定着 個別最適な学び、協働的な学びの実現 ○学習の理解度 90%以上 ○わからないことを質問できる 90%以上 ○ICT活用への児童・職員自己評価 80%以上 ○学習規律、学習習慣の確立 ○学習に向かう姿勢づくり 90%以上 ○自主学習の工夫と充実 80%以上 ○読書貯金と家読への意識向上 80%以上 ◎子どもと創り上げる授業（授業改善） ○児童、保護者の授業評価 90%以上 ○授業改善への職員自己評価 90%以上 ○深く学び、つながる教室の実現 90%以上 ○つなぐ役割の実践 80%以上
がんばる子：主体性の育成 ◎「個」が生きる「集団」づくり（特別活動） ○自分を伸ばす：自己肯定感を育む ○仲間とつながる：共感する力を育む ・関わりの中で自分の優しさを伸ばす ○児童会活動の活性化：自治能力を育む ◎豊かな人間性、社会性を育む（キャリア教育） ○所属意識、自尊感情、自己有用感を育む ◎やり切る姿勢（やり抜く力）を伸ばす ○自己判断力・自己決定力を伸ばす	がんばる子：主体性の育成 ◎「個」が生きる「集団」づくり（特別活動） ○学校が楽しい 90%以上 ○学校行事、体験活動の充実 90%以上 ○仲の良い友達がいる 90%以上 ◎豊かな人間性、社会性を育む（キャリア教育） ○自分にはないところがある 90%以上 ○夢や目標に向かって努力する 90%以上 ◎やり切る姿勢（やり抜く力）を伸ばす ○最後まで粘り強く努力できる 90%以上
やさしい子：豊かな心の育成 ◎互いの違いを認める心の育成（人権教育） ○相手の気持ちに寄り添う心を育み、励まし合う関係づくりに努める ◎思いやりの心を育む（道徳教育） ◎特別でない特別支援教育の推進 ○公平に、周りの子への配慮を忘れず、対応できる支援者を育てる ◎凡事徹底の学校風土の構築 ○学校、家庭、地域と「当たり前」の共有	やさしい子：豊かな心の育成 ◎互いの違いを認める心の育成（人権教育） ○思いやりの心を育む（道徳教育） ○友達のことを考えて行動する 90%以上 ○仲間はすれ、いじめなし 90%以上 ◎特別でない特別支援教育の推進 ○個別の支援計画の活用 ○教育支援委員会の充実 ◎凡事徹底の学校風土の構築 ○自ら挨拶、決まりを守る 90%以上
きたえる子：たくましい心身の育成 ◎健康への意識向上 ○健康への意識を高め、実践につなげる ◎バランスのとれた体力の育成 ○魅力ある体育授業（授業改善） ○運動に親しむ環境づくり ◎防災・防犯への知識の深化と実践力の向上 ○安全な生活を意識した教育課程の編成	きたえる子：たくましい心身の育成 ◎健康への意識向上 ◎バランスのとれた体力の育成 ○健康安全に気をつける子 90%以上 ○早寝・早起き・朝ご飯 90%以上 ○進んで運動に取り組む 90%以上 ◎防災・防犯への知識の深化と実践力の向上 ○児童の危機管理意識の向上 90%以上
教職員の教育力を高める ◎学び続ける姿勢と学び合う教職員集団 ○学校運営参画意識の向上 ○OJT研修の充実（多様で多面的OJT） ◎「チーム」で勝負する教職員集団 ○生徒指導、教育相談の充実 ○報告・連絡・相談・記録・確認の徹底 ◎危機管理意識の向上 ○危機感を共有し、問題の発生を未然に防ぐ	教職員の教育力を高める ◎学び続ける姿勢と学び合う教職員集団 ○教職員の主体的な学校運営参画 90%以上 ○定期的なOJT研修の実施 月1回 ◎「チーム」で勝負する教職員集団 ○悩みを出し合える職員室 90%以上 ○学び合える職員室 90%以上 ◎危機管理意識の向上 ○安心安全な学校づくり 90%以上
地域とともにある学校づくり ◎協働、相互参画による教育活動の充実 ○相互補完的に協力して、信頼関係を深める ○学校・地域連携カリキュラムの実践と見直し	地域とともにある学校づくり ○相談しやすい学校 90%以上 ○情報提供の充実（データ配信） 90%以上 ※つながりを意識したカリキュラムの熟議と実施

〈児童の実態〉

- ・素直でやさしい。
- ・学習や活動に真摯に取り組む。
- ・異年齢の結びつきが強い。
- ・気力や自主性がやや乏しい。
- ・学力や体力に二極化の傾向がある。

〈めざす子ども像〉

相手の立場に立って行動する子
いじめをしない、許さない子
集団で考え、課題解決に向け行動する子
集中してねばり強く取り組む子
進んで体を動かそうとする子
規則正しい生活を送れる子

〈めざす学校像〉

笑顔いっぱい、学校
個々の良さを認め、自覚できる学校
心が通い合い、思いやりのある学校
地域住民が足を運びやすい学校
「チャレンジする意欲」「できる喜び」「高まる自分」が体感できる学校

〈めざす教師像〉

笑顔を絶やさず、元気を与える教師
地域住民の願いを共有し、ともに活動する教師
人権感覚を高め、子どもの目線を忘れず見守る教師
専門性を生かし子どもの学ぶ意欲を刺激する教師
現状に満足せず改革を目指す教師

〈本校の教育課題〉

- ・「適切な言葉遣い」(児)89%(教)63%
意識に差が見られる。
- ・「自分からあいさつ」(児)78%(保)65%
言葉の使い分け、登下校時の挨拶に課題がある。
- ・「ふだんから読書」(児)60%(保)40%
「読書指導に工夫」(教)70%
全般的に低迷している。
- ・「総合的な学習：地域の実情を生かし探求的な活動を展開」(教)100%
自主的に課題を作る場を設ける意識づけを継続する。
- ・「早寝早起き朝ご飯リズム」(児)88%(保)83%(教)64%
家庭と学校の意識に差がある。就寝時刻が遅く、朝のスタートが気持ちよく始められない児童も見られる。

〈学校教育目標〉 自ら考え 変化に挑む子の育成

“新たな課題に向かい、
アイデアを出し合い、高め合い、
支え合う子ども”

〈中期的目標〉

- ・豊かな人間性、自主性、社会性の育成と学力向上
(生活習慣・学習習慣の確立)
- ・教員の専門性の向上
(ファシリテーション力・探究的授業へ対応)
- ・地域住民とともに意識改革
(地域住民との協働、地域とともにある学校)

〈地域の実態等〉

- ・豊かな自然、文化に恵まれ、古くからの風習が息づいている。
- ・人々は温厚であり、教育に対する関心が高く、協力的である。
- ・地域によって児童数の増減に偏りがある。

〈令和6年度学校評価 概要〉

○全校的に落ち着いた雰囲気があり、時間の規律がとれている。人権の花運動や人権集会をはじめ、人権に配慮した取組を行っている。田んぼ、スキー、縄跳びなど北小らしさを継続してくれている。みどプロは、児童が主体的に取り組む姿が見られ、次年度も継続してほしい取組であるが、実施時期や期間についての検討が必要である。地域の力と学校の連携を引き続きお願いしたい。学運協委員が学習参観できる機会を増やしてほしい。○個々の児童により到達度にばらつきがある。また、個別対応は大切であるが、集団としての最低限のルールを守らせるようにしなければならない。集団に入りきれない児童がいることや、言葉遣い、あいさつなども課題である。北小の子どもたちにどんな力をつけるか、どう伸ばすか、伝統として何を残すかを考えてほしい。地域はその考えを支持し、協力したい。

つながり響き合う教育の推進

☆ タテのつながり

湖西中学校区での保幼小中高一貫教育の推進
『学び合い』に視点を当てた授業・保育交流の推進
こども園・中学校との交流活動の充実

☆ ヨコのつながり

地域学校協働活動の継続・発展
地域と学校が一体となって子どもを育てる意識の醸成
地域住民の学校運営への参画
地域住民の来校促進

☆ 未来とのつながり

将来を見据えた教育活動の展開
キャリアパスポートの活用により自分の未来を描く
社会や団体への貢献を感じる活動の展開

つながり響き合う教育の推進

☆ タテのつながり

「小中一貫教育を有意義に感じ、積極的に取り組んでいる。」および「つながりを意識して自己の授業づくりに取り組んだ」(職員評価)100%

☆ ヨコのつながり

学校運営協議会・希望の会の活動を理解し、地域住民とともに取り組む協働活動に意義を感じる。(職員評価)100%
地域住民が集える場としての学校を推進し、住民と児童・教員の交流を深める。

☆ 未来とのつながり

キャリア教育の視点を生かす学習・郷土の良さを知る学習(藤本太郎兵衛、針江かばた、熊野本古墳群、清水山城)に積極的に取り組む。
たてわり活動は有意義である(児童評価)84%→90%
係・委員会活動を工夫(児童評価)82%→90%

やさしい子 かしい子 強くたくましい子の育成

☆ やさしい子

思いやりのある、差別やいじめのない学校づくり
基本的な生活習慣・行動様式の定着
子どもが活躍する場、子どもと子どもがつながる場づくり

☆ かしい子

学習規律を整え、秩序を大切に授業づくり
子どもと子どもをつなぐ、主体的に学び合う言語活動の充実
「読み解く力」を重点においた授業づくり
ICTを活用した学び方改革

☆ 強くたくましい子

遊びを通した仲間づくりと体力づくり
運動能力向上の全校的な取組の推進
「早寝早起き朝ご飯と正しい生活リズム」の推進

☆ やさしい子

読書活動の推進「読書に取り組む」(保護者評価)40%→50%(児童評価)60%→80%
あいさつ運動の推進「時と場に応じた言葉遣いができている」(職員評価)63%→80%
たてわり活動の推進「いじめ・仲間はずれにしない」(児童評価)94%→100%

☆ かしい子

「学習規律が定着、学習にメリハリがある」(職員評価)70%→90%「授業改善に取り組む」(職員評価)100%
全学級でメクビットを活用する。
タブレット端末を活用した学習をさらに充実させる。

☆ 強くたくましい子

なわとび、マラソン等強化月間を継続する。
「早寝早起き朝ご飯」の習慣化(保護者評価)83%→100%
睡眠の重要性、就寝時刻にかかる啓発に取り組む。

＜生徒の実態＞

- ・誰にも挨拶ができる。
- ・学習、部活動、学校行事に意欲的に取り組み、落ち着いて学校生活を送る生徒が多い。
- ・受け身的であり、周りを見て行動する生徒が多い。
- ・学力差が見られる。

＜本校の教育課題＞

- 主体的・自主的に活動する生徒の育成
- 読み解く力を踏まえた授業改善
- ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・ICT機器を活用した授業の充実
- 地域とともにある学校づくりの活性化

＜地域の実態等＞

- ・少子高齢化地域である。
- ・家族構成等により支援が必要な家庭がある。
- ・PTA活動や学校行事への参加率は高く、協力的である。
- ・地域の方は依頼すれば協力的である。

＜令和6年度学校評価の概要＞

- ・授業がよくわかる 91%・家庭学習60分以上 50%・登下校や始業時刻を守っている 93%
- ・学校へ行くのが楽しい 80%・学年ごとに地域貢献活動を実施 年間1回以上

（関係者評価）日頃の授業では、教師の熱心さと温かな姿勢、そして生徒の努力が伺える。生徒数の減少に伴う対応や部活動のあり方の道筋が示されることを望む。また、地域の現状や課題を考え、周囲と関わりを深める取組の工夫を期待する。

＜めざす生徒像＞

思いやりの心や粘り強さを大切にし、自ら考え、判断し、行動する生徒

- 自他のよさを認め、互いを大切にできる生徒
- 夢や目標の達成のために、考え努力する生徒
- 感謝の言葉が素直に言える生徒
- 地域に自ら役立とうと行動する生徒

＜めざす学校像＞

- 確かな学力が身に付く学校
- 豊かな人間性を育む学校
- 子どもたちを幸せにする学校

＜学校教育目標等＞

品位・気魄・和合

～思いやりの心や粘り強さを大切にし、自ら考え、判断し、行動する生徒の育成～

＜中期的目標＞

- 意欲的に学びに向かう態度の育成
- 自他を大切にする態度の育成
- 自己有用感を高める指導の推進
- 理想の大人として研鑽を積む教職員
- 全教職員で全生徒を育てる組織の充実

＜本年度の指導力点＞

○学力の向上

- ・子どもを主語とした個別最適な学びの在り方の理解と実践意欲の向上
- ・学習の刺激があり、切磋琢磨できる環境づくり
- ・「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの充実
- ・タブレット端末やICT環境を活用した学習活動の推進

○豊かな心づくり

- ・生徒指導の視点を生かした学級経営と授業づくり
- ・生徒会活動や縦割り活動を通したいじめを許さない集団づくり
- ・生徒指導教育相談の充実

○健康な心身の育成

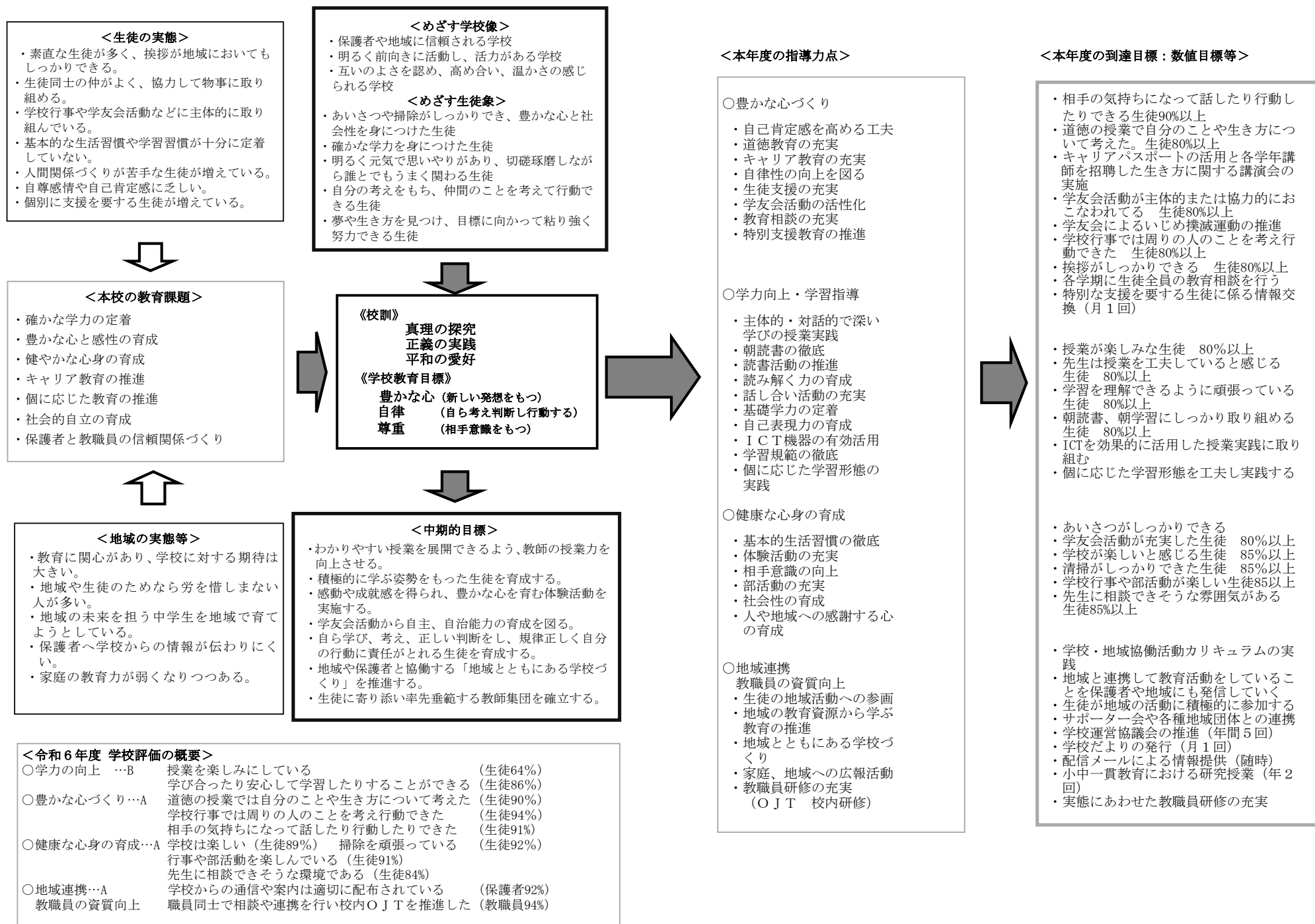
- ・健康な生活リズムの確立
- ・自己管理の定着
- ・挨拶運動の充実
- ・部活動再編方針の具体化

○家庭・地域・学校の豊かなつながり

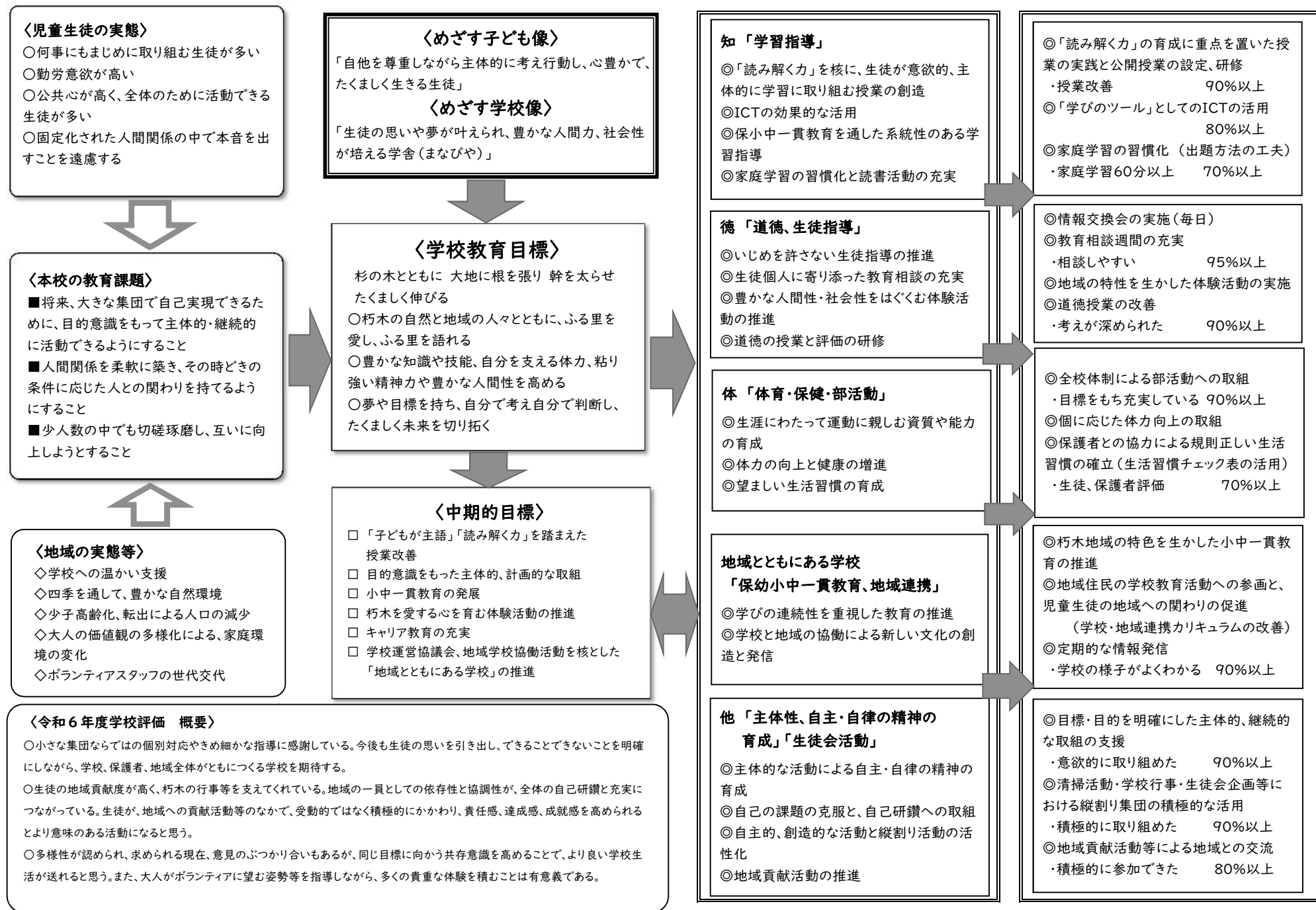
- ・地域学校協働本部と連携した教育活動の推進
- ・子どもたちによる地域貢献活動の充実
- ・園小中、地域と連携した教育活動の充実と適切な情報発信

＜本年度の到達目標：数値目標等＞

- 生徒85%以上が「授業がよくわかる」と回答
- 生徒85%以上が「やる気をもって授業に取り組んだ」と回答
- 生徒85%以上が「自分の考えを伝えたり書いたりした」と回答
- 職員研修・校内研究会を工夫して実施する
- 生徒85%以上が「タブレット端末や資料を使って授業は楽しい」と回答
- 生徒80%以上が「道徳はためになる」と回答
- 生徒85%以上が「委員会や班活動に積極的に取り組めた」と回答
- 「いじめ点検」を月1回実施
- 生徒90%以上が「先生はよく関わってくれる」と回答
- いじめ事案に対しては、すべて組織対応する
- 生徒90%以上が「学校に来るのが楽しい」と回答
- 生徒85%以上が「時間に余裕をもって登校できた」と回答
- 生徒90%以上が「近所の人に挨拶ができる」と回答
- 部活動再編方針を具体化して通知する
- 生徒85%以上が「地域や園小中の交流活動で協力して活動できた」と回答
- 地域貢献活動 生徒年間1回以上
- 年間2回の保護者懇談会や保護者・生徒アンケートの実施と学校評価結果の公表
- 読書活動を基点とした家庭学習や地域活動の具体化
- 園小中のこども交流 年間3回以上
- 園小中合同研究会・研修会の実施



令和7年度 学校教育到達目標 高島市立朽木中学校



令和7年度 学校教育到達目標 高島市立安曇川中学校

